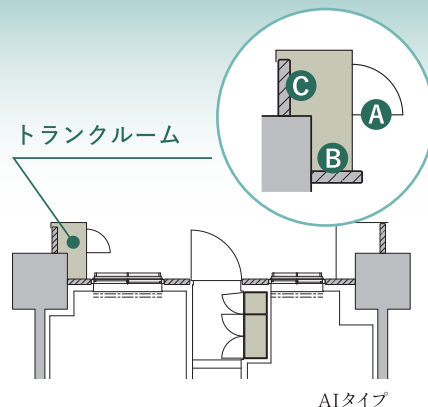


TRUNKROOM 活用法

住戸外にあるトランクルームは、室内に持ち込みたくない「外使いのもの」を収納するのに便利なスペースです。高さを活かせる収納空間だから、スチールラックや突っ張り棚（別売り）を組み合わせることで空間を無駄なく活用できます。使う頻度や重さに合わせて棚の高さを調整することが、使いやすい収納のコツです。



1. 収納例 ベビーカー・子どもグッズ

ベビーカーはトランクルームへ。
玄関がすっきり片付きます。
お出かけ用品をまとめて収納しておく
ことで、支度時間が短縮できます。

① 正面スペースにベビーカー

使用頻度の高いものは取り出しやすい定位置に。

② 高いところには軽いものを

虫かごやプールグッズなど、ワンアクションで取り出せるものを突っ張り棚に。

③ 外遊びおもちゃは 下段に分類収納

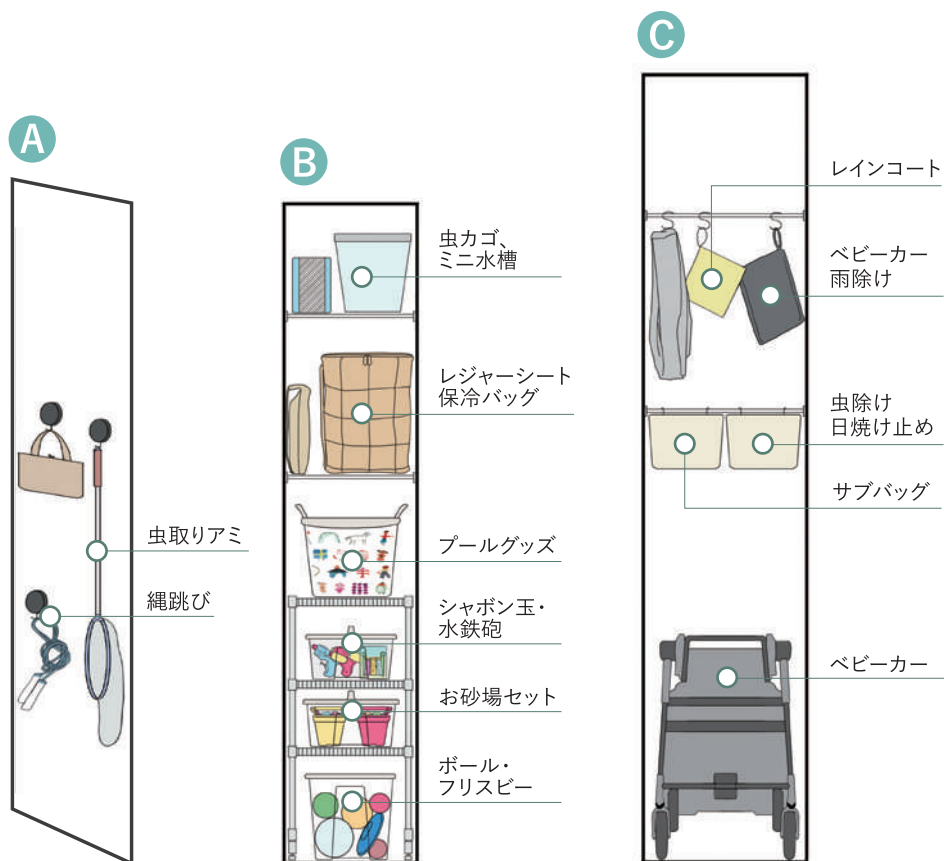
お子さまが自分で選び、片付けやすい高さがポイント。

④ 扉裏も活用

マグネットフックで収納力アップ。

⑤ 壁面を有効活用

突っ張り棒を設置し、ベビースリングやレイングッズをかけると便利。S字フックでケースを掛けると細かいものを取り出しやすく整理できます。



トランクルーム (AIタイプ)

トランクルームを活かして、 お家の中の「スペパ(スペースパフォーマンス)」を向上。

働き方や暮らし方が多様化するなかで、お家をもっと広く、すっきりと使いたいというニーズが高まっています。そこで私たちが注目したのが、住戸外にあるトランクルームの存在です。室内では使わない「ときどき使うもの」などを住戸外の専用スペースに美しく収める。これだけで、お部屋の「スペースパフォーマンス(空間対効果)」は向上し、リビングや寝室にゆとりが生まれます。



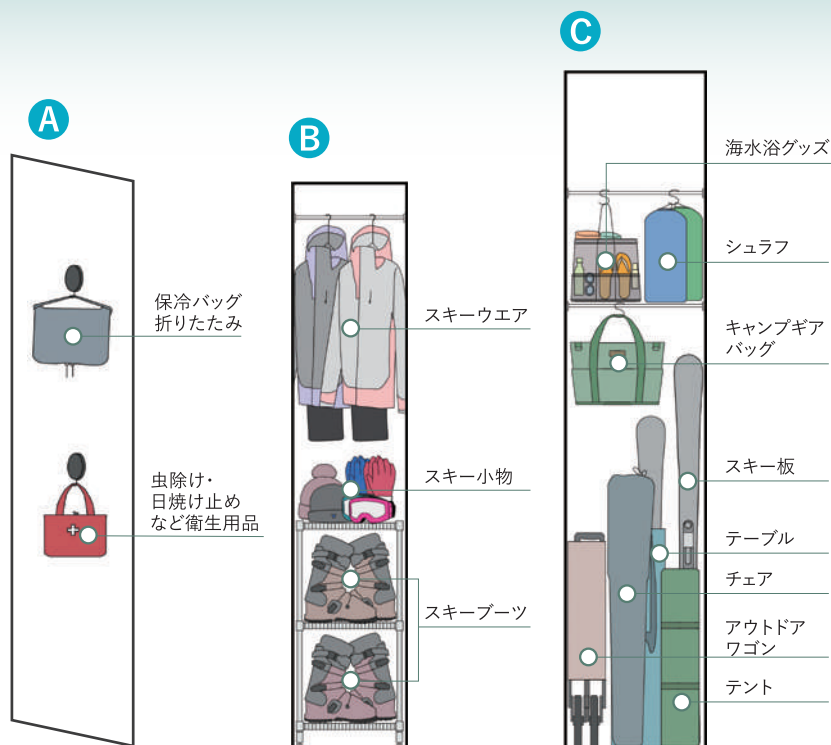
インブルーム株式会社
お片付けコンシェルジュ®
伊坪 美和
Miwa Itsubo



2. スポーツ・アウトドア用品

趣味の大型アイテムをトランクルームに収納して、お家の中の「スペパ」をスマートに引き出す

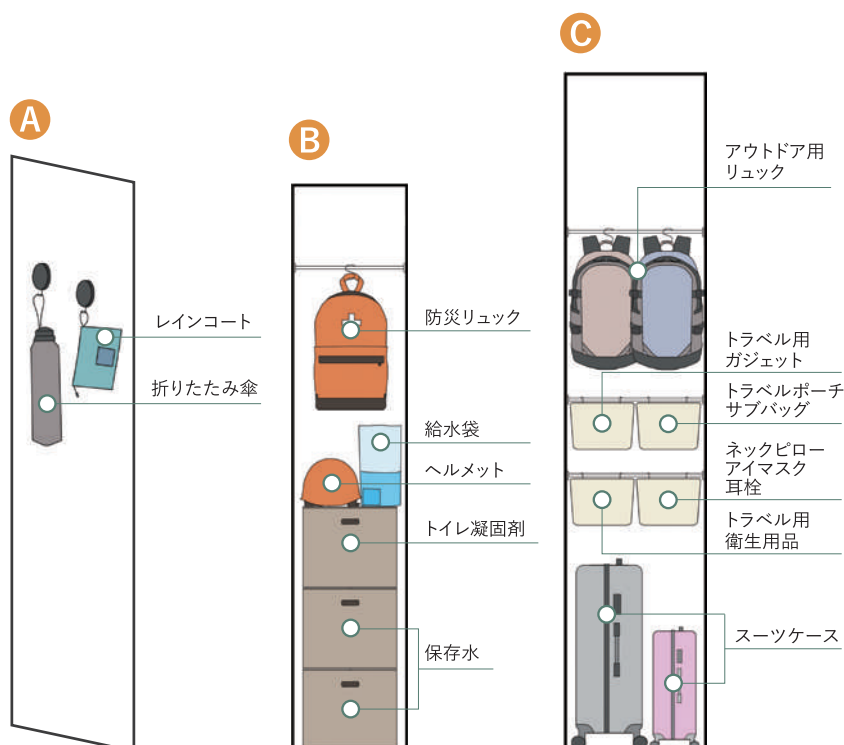
スキーやキャンプ、海水浴グッズなど、シーズンごとに使うかさばるアイテムこそトランクルームの出番です。スキーウェアやシュラフは突っ張り棒でハンガー収納、テントやチェア、アウトドアワゴンなどの大型ギアは自立させて奥に配置すると、居室のクローゼットを圧迫しません。スキーブーツや小物はオープンシェルフでカテゴリー別に整理すると、シーズンの入れ替えもスムーズです。



3. 防災・旅行グッズ

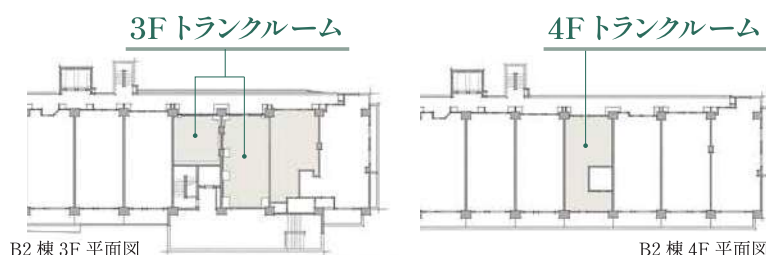
「もしも」と「お出かけ」の備えをトランクルームにまとめて、毎日の「スペパ」を軽やかに高める

防災リュックやヘルメット、保存水などの防災備蓄品は、玄関を出てすぐ取り出せるトランクルームが理想的な置き場所です。スーツケースは自立するハードキャリータイプが省スペースで、トラベル用品や旅行快適アイテム、衛生用品はサブバッグに分けておくと、旅行の準備もすぐに整います。扉裏にはレインコートや折りたたみ傘を掛けておけば、急な雨にもすぐに取り出すことができます。



もう一つのトランクルーム（50区画/有償）という心強い選択肢

例えば、玄関横にはベビーカーや日常のアウトドア用品など、サッと取り出したいものを。3階や4階の共用トランクルームには、季節限定の衣類やイベントグッズなど、出番を待つ荷物を。この2つのスペースを賢く使い分けることで、室内の「スペパ（スペースパフォーマンス）」は向上します。大切な趣味も、日々の快適さもあきらめない、ゆとりある暮らしを叶えます。



※住戸外（玄関横）の専用トランクルームの形状・内部寸法および収納可能なサイズは、タイプ・階数により異なりますので、あらかじめご了承ください。
※掲載の写真はモデルルーム（AIタイプ/10階）を撮影したものです。家具・家電・調度品等は販売価格に含まれません。詳しくは、係員にお尋ねください。
※掲載の間取り図・共用部平面図は、設計図書を基に描きおこしたもので、実際とは多少異なる場合がございます。
※共用部のご利用方法は、管理規約に基づきます。※共用部分・サービスのご利用には別途利用料が必要となるものがあります。